



▲完成予想図（外観イメージ）

▲大階段・表現の舞台（内観イメージ）

## 設計コンセプトと概要を公開！

# 多可町立『多可中学校』



令和8年4月開校を目指し、令和5年春から現場の先生や子どもたちの意見を取り入れながら設計を進めてきました。子どもたちが安心して学べる学習環境を整備し、アスパル、生涯学習まちづくりプラザ、子育てふれあいセンターが近くにある環境を生かし、住民みんなで子どもたちを見守ることができる「地域に開かれた学校」を目指して計画しています。今回は、「みんなの学校、多可中学校」の概要をお知らせします。

|       |                   |
|-------|-------------------|
| ■建築概要 |                   |
| 建築面積  | 6,939㎡            |
| 全床面積  | 12,557㎡           |
| 構造    | 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建 |
| 駐車台数  | 50台               |
| 駐輪台数  | 280台              |
| 概算工事費 | 約50億円             |

## 設計コンセプト

環境 生活 安全 共創 共感 安全 学び 生活 環境

環境を考慮した学校施設

- 天井面から均質な採光を確保（トップライトなど）
- 県産木材を用いた内装木質化による地域資源の有効活用

「災害」に強い学校機能

- マンホールトイレの設置
- 大雨対策として、雨水を運動場に貯留可能
- 緊急遮断弁付水槽による非常用の飲料水を確保

地域連携の拠点となる学校

- 武道場、調理室、多目的大教室からなる「地域交流棟」を地域に開放
- 生涯学習まちづくりプラザ、みちひろばとの連携を生み出す「交流モール」

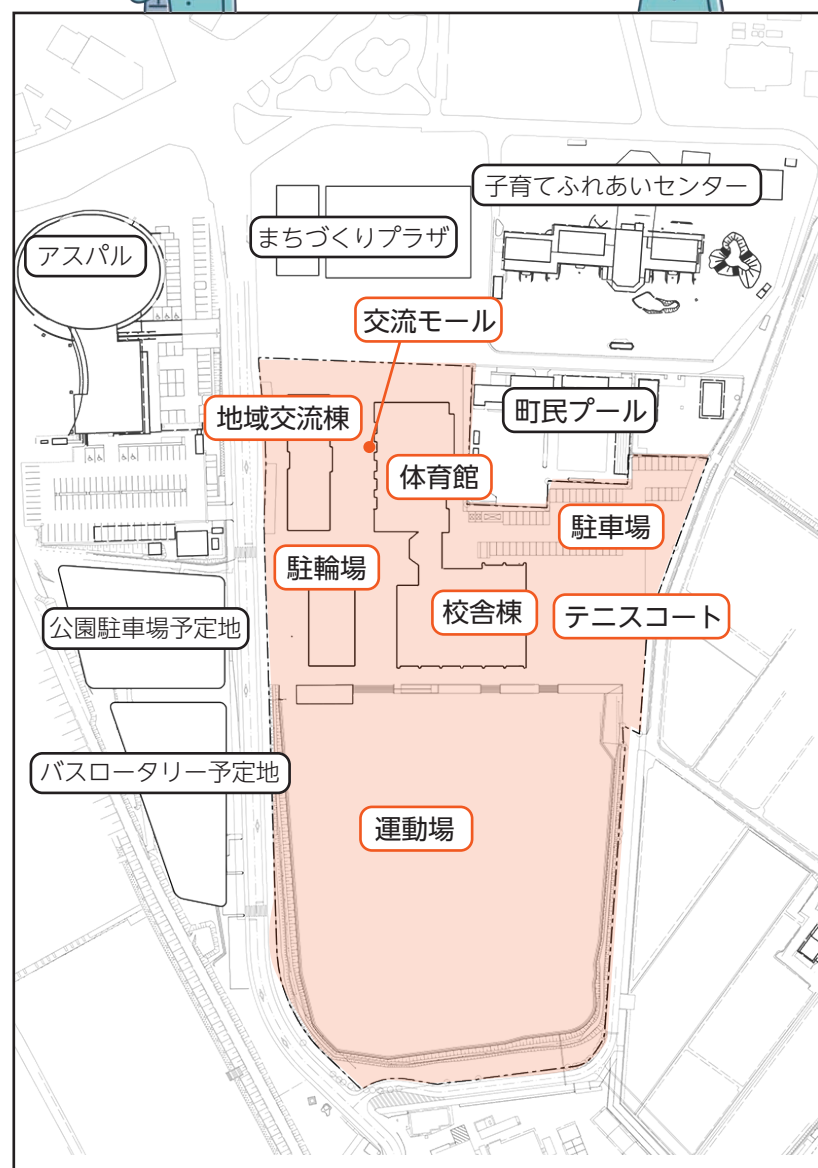
生徒に寄り添う安全安心な学校

- 子どもたちに寄り添い、気軽に話せる相談室を各フロアに配置
- 雨天時にも活動できる屋根付きの「交流モール」

これからの学びに対応できる教育環境

- 学習内容の多様化に対応できる少人数教室、多目的教室を配置
- 気軽に本に親しむことができる開放的な「メディアセンター（図書室）」
- 昇降口とメディアセンター（図書室）をむすぶ「大階段・表現の舞台」
- 学年間の交流や一体感の醸成に配慮し、教室を同じフロアに配置

## 配置計画（予定）



## 今後のスケジュール

2023年度  
（令和5年度）

2024年度  
（令和6年度）

2025年度  
（令和7年度）

2026年度  
（令和8年度）

基本・実施設計

工事発注・建設工事など

引越

令和8年4月  
開校

統合中学校開校準備委員会

多可中学校の校章デザインの募集を10月末で締め切りました。たくさんのご応募ありがとうございました。今後、開校準備委員会で協議し、年度内に決定します。

